

社会資本総合整備計画 中間評価書（都市再生整備計画 事後評価書）

平成 29 年 3 月 27 日

計画の名称	戸塚駅周辺地区（第2期）都市再生整備計画				交付対象	横浜市									
計画の期間	平成23年度～平成27年度（5年間）														
計画の目標	都市再生緊急整備地域に指定されている「戸塚駅周辺地域」内の地区として、既成市街地の再構築により、交通結節機能を強化しつつ、高質でバランスのとれた拠点形成する。														
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 駅周辺駐輪場の定期利用待機者の合計を従前値1,300人から0人にする。 戸塚駅周辺の文化施設（戸塚区民文化センター、戸塚公会堂、男女共同参画センター、戸塚地区センター）の施設利用者数の総計を36万人/年から44万人/年に増加させる。 バリアフリー対応度を50%から100%にする。 水洗化及び浸水対策面積を3.3haから4.3haに増加させる。 														
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値			備考								
				当初現況値 (H21当初)	中間目標値	最終目標値 (H27末)									
①	駅周辺駐輪場の定期利用待機者の合計			1300人	—	0人									
②	戸塚駅周辺の文化施設（戸塚区民文化センター、戸塚公会堂、男女共同参画センター、戸塚地区センター）の施設利用者数の総計			36万人/年	—	44万人/年									
③	再開発地区内のバリアフリー化の度合いを把握			50%	—	100%									
④	再開発地区内の実質的水洗化区域を把握			3.3ha	—	4.3ha									
全体事業費	合計 (A+B+C)	8,093百万円	A	8,093百万円 (提案分 747百万円)	B	-	C	-	効果促進事業費の割合 (A(提案分)+C) / (A+B+C)		9.2%				
事後評価（中間評価）															
○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期															
事後評価（中間評価）の実施体制						事後評価（中間評価）の実施時期									
評価の透明性、客観性、公平さを確保するため、学識経験者を入れた評価を実施しました。						事後評価：平成27年度末時点									
						公表の方法						横浜市ホームページ			
1. 交付対象事業の進捗状況															
交付対象事業 【戸塚駅周辺地区（第2期）都市再生整備計画】															
A1 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H23	H24	H25	H26	H27		
A1-1	道路	一般	横浜市	直接	横浜市	横浜伊勢原線	約140m	横浜市						9	
A1-2	地域生活基盤施設	一般	横浜市	直接	横浜市	戸塚駅西口第1地区（公益施設（自動車駐車場・自転車駐車場））	約8,000㎡	横浜市						1182	
A1-3	高層立開形成施設	一般	横浜市	直接	横浜市	戸塚駅西口第1地区	2か所・約220㎡	横浜市						88	
A1-4	高次都市施設	一般	横浜市	直接	横浜市	戸塚駅西口第1地区（戸塚区民文化センター・戸塚区総合庁舎多目的ホール・公益施設（交通広場））	約6,650㎡	横浜市						5,060	
A1-5	市街地開発事業	一般	横浜市	直接	横浜市	戸塚駅西口第1地区	約4.3ha	横浜市						12	
小計A（基幹事業）													6,351		
A1 基幹事業（提案事業）															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H23	H24	H25	H26	H27		
A2-1	地域創生支援事業	一般	横浜市	直接	横浜市	戸塚駅西口第1地区（公共下水道事業）	約1.0ha	横浜市						39	
A2-2	地域創生支援事業	一般	横浜市	直接	横浜市	戸塚駅西口第1地区（都市情報提供システム設置）	約4.3ha	横浜市						16	
A2-3	地域創生支援事業	一般	横浜市	直接	横浜市	戸塚駅西口第1地区（地元支援関連事業）	約4.3ha	横浜市						0.5	
A2-4	地域創生支援事業	一般	横浜市	直接	横浜市	戸塚駅西口（東海道踏切区線人道橋整備事業）	約234㎡	横浜市						371	
小計A（提案事業）													427		
合計（小計A（基幹事業）+A（提案事業））													6,778		

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・自転車駐輪場を整備し、放置自転車に対してはある一定の効果があったが、モラルの問題もあるため解消は難しい。 ・区民文化センター及び多目的ホールの整備により、区民の文化芸術活動が活性化された。 ・再開発地区内の歩行者経路はすべて、エレベーターと誘導ブロックが設置されており、バリアフリー化が達成された。 ・再開発地区内全ての下水道整備が終了したことにより、水洗化を達成した。 			
II 定量的指標の達成状況	指標①（駅周辺駐輪場の定期利用待機者の合計）	最終目標値	0人	目標値と実績値に差が出た要因	当初想定した必要台数を確保するだけの駐輪場を整備したが、一方で、再開発事業後に戸塚区内に新しい大型マンションが複数建ち、自転車等利用者数の増加から一定程度の待機者数がある。
		最終実績値	2450人（自転車のみ） 3230人（バイクを含む）		
	指標②（戸塚駅周辺の文化施設の施設利用者数の総計）	最終目標値	44万人／年	目標値と実績値に差が出た要因	区民文化センター及び多目的ホール等を整備したことにより、区民の文化活動の幅が広がり、利用者数の増加につながった。
		最終実績値	49万人／年		
	指標③（再開発地区内のバリアフリー化の度合いを把握）	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	100%		
	指標④（再開発地区内の実質の水洗化区域を把握）	最終目標値	4.3ha	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	4.3ha		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		<p>区民文化センターの利用者へのアンケートでは、施設の評価として79.5%の方が「大変良かった」と回答しており、区民の潜在的な需要に応えたものと思われる。このことから、施設の整備が駅周辺を中心とした文化活動の活性化に寄与したものと思われる。</p>			
3. 学識経験者の意見					
<ul style="list-style-type: none"> ・指標①については、需要の喚起などにより当初の想定を上回ったとのことですが、整備の効果はあったと思われるので、今後、対策を検討してください。 ・指標②については、区民文化センターの整備により、地域の文化活動が活発になった効果と思われます。実際の文化活動が増えているかなど、機会を捉えて調べてください。 ・指標については、市街地整備によって地区の課題が解決されたのかを測ることができるものであるべきと考えます。整備により直接的に改善された指標ではなく、整備によって期待する効果についての指標などであれば、指標として分かりやすいと考えます。今後、指標策定にあたっては、その点に留意ください。 ・地域における想定外の問題が生じる場合もあるので、引き続き地域に気を配り発生した課題等への対応を検討してください。 					
4. 特記事項（今後の方針等）					
<ul style="list-style-type: none"> ・戸塚区役所及び関係機関と継続して課題共有の機会を持ち、本事業で整備した施設の有効活用につなげ、戸塚駅周辺地域の活性化に取り組んでいく。 ・区役所など関係機関と調整し、文化活動など整備効果として調査できるか検討します。 					

計画の名称	1 戸塚駅周辺地区（第2期）都市再生整備計画		
計画の期間	平成23年度 ～ 平成27年度（5年間）	交付対象	横浜市

